

## 1.活動スタッフ・現地参加者数

活動スタッフ参加者：4名（内訳）			
男性	4名	アソシエイト層（～34歳）	0名
女性	0名	リーダー層(35～59歳)	2名
		シニア層(60歳～)	2名

## 2.活動場所・スケジュール

- ・ハネウエル居場所ハウス 岩手県大船渡市末崎町字平林 54-1 電話：0192-47-4049
- ・末崎地区公民館（ふるさとセンター） 岩手県大船渡市末崎町字平林 81 電話：0192-29-2955
- ・気仙大工左官伝承館 岩手県陸前高田市小友町字茗荷 1-237 電話：0192-56-2911
- ・大船渡市立博物館 岩手県大船渡市末崎町字大浜 221-86 電話：0192-29-2161

6/15（金）	イベント	場所
13:00-14:00	意見交換会	ふるさとセンター
15:00-16:00	東日本大震災 大津波写真展	大船渡市立博物館
6/16（土）		
9:00-13:30	五周年記念感謝祭	居場所ハウス
14:00-15:00	伝統の技と心を学ぶ	気仙大工左官伝承館

今年度の「デジタル公民館まっさき」活動は、公民館で開催される地域の自律したコミュニティ活動を見守り、後押しをするというスタンスで、コミュニティ活動への参加要請があれば、それに出来るだけお応えする形で活動します。

また、気仙の地域コミュニティ(ふるさとセンター、居場所ハウス、長洞元気村)と KK<sup>2</sup> の交流活動を通じて「長寿社会の課題」を学び、「共同体感覚」の育成を目的として活動します。

第1回は、6月16日(土)居場所ハウス5周年記念感謝祭へのご招待に応じ、4名が参加しました。KK<sup>2</sup>と同じく民設民営の「居場所ハウス」が持続可能な運営を続けていく為には、特定非営利活動法人居場所創造プロジェクトを中心に、地域住民の皆さまと様々な支援団体・支援者が協力し自主財源を確保していく取り組みが必要です。次の10周年に向けて皆が力を合わせていくことを誓う感謝祭となりました。

### 3.参加者による活動内容報告・成果・感想

【田中純一氏】

2018年6月15日にハネウエル居場所ハウスの開設5周年感謝祭が開催された。かねて末崎町公民館・ふるさとセンターを拠点にしてデジタル公民館まっさき活動を続けてきたKK<sup>2</sup>は、地元支援団体として居場所ハウスとも協力関係にあり、このイベントに招聘を受けた。

KK<sup>2</sup>ではまっさき活動の参加者にこのイベントを告知し参加を募ったが、金曜土曜という平日を含む事情もあり、結果的に参加者は久保田KK<sup>2</sup>代表、市川氏、葛西氏、田中の4名となった。

14日（金）朝新幹線で東京を発った久保田・田中組は、一関からのレンタカーで午後、末崎町公民館・ふるさとセンターを訪問し、大和田主事と懇談。デジタル公民館まっさき活動の地元での近況を伺ったが、同主事の船舶通信技師の経験と電気・電子領域における造詣の深さを知り、今後の地元のデジタルスキルを支えるポテンシャルを感じることができた。

翌15日（土）早朝には、別ルートで東京を発っていた葛西・市川両氏が相次いで合流した。晴天乍らかなり低気温の中、9時半から始まった感謝祭は、居場所ハウスを運営するNPO法人居場所創造プロジェクト理事長でもある鈴木居場所ハウス館長の主催者ご挨拶に始まり、開設を主導したワシントンDCのNPO法人Ibashaの清田代表や戸田大船渡市長の祝辞もあり、更にニューヨークから世界銀行スタッフが参列するなど華やかな顔ぶれだった。居場所ハウスの歴史が改めて説明される場面もあり、その国際性をはじめ、奥の深さを改めて認識した。居場所ハウスが高齢者支援ではなく、当初目的通りに高齢者が活躍できる場としての機能を発揮していることも多く語られた。新沼末崎公民館長も居場所ハウスと公民館との併存連携を多とする祝辞を述べた。地元の皆さんの参加は約100人、後半は地元ならではのアトラクションが続き、大きな鯉のぼりが生き生きと泳ぐ下で、参会者は締め桜音頭まで、大いに楽しみ、盛り上がっていた。我々デジタル公民館まっさきメンバー4名は来賓として遇していただいた上に、かねて交流のある方々と大いに旧交を温めることができた。

復路は、葛西氏が末崎公民館・ふるさとセンターから別行動となったが、久保田・市川・田中組は陸前高田市の気仙大工伝承館でスタッフから当地の木造建築の粋について解説を受けつつ、昔話に聞き入った。その後、気仙沼市の近況を視察しながら一関に向かい、帰京の途についた。

【市川有宏氏】

6月16日（土）岩手県大船渡市末崎町にある居場所ハウスの5周年記念感謝祭に参加しました。震災復興支援のため、古民家を移設して寄附されたものです。ハコモノの寄附はなかなか活用されないと言う話をよく耳にしますが、ここは例外です。文字通り地域の方の「居場所」として活用されています。来場者も年々増えているとか。私は5月3日のこいのぼり祭りに続く居場所ハウス訪問となりました。

居場所ハウス横のスペースに設置されたイベント会場では今まで見たことのない多くの人が集まっていました。地域の方がこの場所を大切に思っているという事が伝わってきます。その人たちの中にはこの地域で活動したパソコン教室などの活動で知り合った方々の顔もチラホラ。先のこいのぼり祭り同様、私がここに来る目的はもはやボランティアではなく、この方々に会いに行ったり、季節の美味しいものや花を楽しむためです。

別れ際、次はいつ来てくれるのかしらと期待と不安が入り交じったお言葉をいただきました。この場所に再び行くための理由付けになるイベント、次は何があるかなと早くも次の訪問を楽しみにする自分がいます。

【葛西章広氏】

居場所ハウス五周年記念感謝祭に参加して

この度は居場所ハウスが五周年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。そして、居場所ハウス五周年記念感謝祭にお招き頂き誠にありがとうございました。感謝祭は、この貴重な5年の月日、出来事の数々を紡いでこられた運営スタッフの方、地域の方々の手づくりで催され、振り返って感動し、もてなされて感動する温もりのあるとても素晴らしいものでした。

祝い餅まきそして、日本舞踊、祝い餅つき、日本舞踊等の余興、米・大根・ふのり・草刈り・洋服・雑貨、焼き鳥・焼きそば等の販売、ホヤ釣り・射的。どれもこれも全て古き良き時代の日本の八レの日の賑わいを彷彿とさせるものばかりです。そして何よりも感動したのはそれらの販売やサービスの提供がこれまでのこの地域での活動の場面で都度お世話になってきた方々であったことでした。

霞が関ナレッジスクエア（KK<sup>2</sup>）は、2012年からふるさとセンターを活動拠点として、首都圏を中心にアソシエイト、リーダー、シニアの各世代からITボランティアをその都度募ってパソコン教室の開催等「デジタル公民館まっさき」活動を続けてまいりました。PCよろず相談ではパソコンの基本操作や電子メール、face book等SNS、デジタルカメラやボイスレコーダー等様々なデジタルメディアに関する相談が寄せられました。「まっさきに学ぶ」では地域で活躍されている方々にふるさとセンターや居場所ハウス等にお出で頂いたりお訪ねしてご講話頂きました。

居場所ハウスには、2013年6月13日、ふるさとセンターの目と鼻の先の場所にオープンしてこのかた折に触れて都度足を運ばさせて頂いています。

オープン直後の2013年7月の夜には居場所ハウスにて熊谷君子さんに『「気仙ボケー座」グローバルばあちゃんのあの日あのと暮らしぶりまちづくり』をご講話頂きました。そしてその後、2015年2月に今度はふるさとセンターにて『気仙に学ぶ！「気仙ボケー座」20周年記念公演』が開催されています。いずれも今でも下記URLにて視聴可能です。

<https://www.kk2.ne.jp/kk2/biz01/spc049.html/>

<https://www.kk2.ne.jp/kk2/biz01/msk103.html/>

その他、2013年の5月活動と7月活動において、東京都三

鷹市で活動しているどこ竹武蔵野三鷹の協力を得て、竹とんぼ講師の養成講座を開講し、現在までに7名の竹とんぼ講師を育成し、どこ竹三鷹まっさきチームを編成しています。このまっさきの竹とんぼチームは、ふるさとセンターで竹とんぼ教室やミニ門松づくり、町民文化祭への出展を行う他、居場所ハウスにおいて「夏休み親子ものづくり教室」等を主催するまでになっています。居場所ハウスの感謝祭の運営スタッフとして活躍している竹とんぼチームの方、お祝いに駆けつけてくださった竹とんぼチームの方の姿を見つけると、この5年間の活動の意義深さを改めてかみしめることができました。

KK<sup>2</sup>のデジタル公民館まっさき活動の最大の成果は、よそ者に学びの場と居場所をご提供頂き、まっさき方々とよそ者との交流が図られ、ご紹介したface bookを通じて、碁石海岸の草木や旬の魚介類の水揚げの様子、まっさきの歳時を美しい写真と文章で、瞬時に共有できる空間を相互に手に入れたことなのではないでしょうか。

居場所ハウス五周年記念感謝祭に参加して、一人でも一人にしないため、一人でも多くの仲間と繋がるため、集うために、IT格差を解消し、居場所が活用されるために、ふるさとセンターと連携したPC教室機能の継続の有効性・必要性を改めて認識した次第です。今年、居場所ハウスで開催される「夏休み親子ものづくり教室」が楽しみです。

以上  
(参加者による報告書より)